

(1) 令和5年度活動報告

農地・移住・就農部会

① 新・農業人フェア出展(令和6年1月20日 農業 EXPO@東京国際フォーラム)

相談件数：8件

<年齢>

20歳代：3件
40歳代：2件
50歳代：2名
不明：1件

<都道府県>

東京都：1件、神奈川県：2件
埼玉県：2件、山形：1件
新潟：1件、福岡：1件

近年、Iターン移住者を中心に、有機農業での新規就農を相談される方が増加してきています。こういった傾向から、潜在的な有機農業での新規就農希望者は、相談件数以上に存在していることが予想されることから、南種子町の有機農業推進の取り組みを広くPRするため、「新・農業人フェア」へ参加し相談を受け付けました。

生産技術部会

① 有機給食研究会活動・農業者研修会の開催

(令和5年9月13日, 令和6年1月30日 講師:鹿児島県有機普及員 満吉俊也氏 参加者:延59人)

トミー市場生産者を中心に町民に広く呼びかけ、有機農業についての基本技術を知ってもらい、取組を開始する生産者を増やすことで、有機給食の充実を図ることを目的に農業者研修会を開催しました。



土づくりと雑草対策・秋冬野菜について



有機農業の病害虫対策・春夏野菜の有機栽培ポイント

② スマート農機実演会(令和6年3月21日 荃永・下中)

スマート農機を活用した環境にやさしい栽培体系の確立や除草作業労力を低減することにより、生産力の強化と持続性を両立する取組を町民へ普及するため実演会を開催しました。



アイガモロボット

水位水温センサー・給水ゲート



③ 有機米プロジェクト

本年度も、有機給食を実現する上で欠かせない有機米を地域内で生産し、循環型稲作技術を確立するため、以前から学校給食へ精米を納入している地域の大規模水稻農家に協力を頂き、有機米の試験栽培を行いました。

学校給食に有機米を使用することで、子供たちや学校、地域等へ有機農業の普及を広く図れ、地域をリードしている大規模慣行農家へ協力をいただくことで、既存の慣行農家への良い影響を及ぼすこと(有機農業への転換、環境負荷低減の取組みなど)が期待されます。

◆ 先進地視察(令和5年6月11・12日 視察先:始良市役所, 今村君雄氏, 有限会社 蔵)

有機米の試験栽培に取り組んでいただく農家も参加して、始良有機部会(JAあいら)の有機米栽培技術や取組について、意見交換会や圃場視察を行いました。



◆ 有機米試験栽培

町内の大規模水稻農家と協力して令和5年度産有機米試験栽培を行いました。19aの圃場で720kg収穫(玄米)でした。お米は、学校給食のご飯として提供されました。

また、令和6年産の有機米試験栽培を開始しています。有機米試験栽培の圃場を3ヵ所に増やし、環境にやさしい栽培技術と省力化に資する技術を取り入れながら、有機米の試験栽培を行っていく予定です。



④ トンミー市場生産者との先進地視察

(令和5年10月18～20日 視察先:綾町役場, ㈲松井農園, 有機農園 power of plants)

トンミー市場での町内産有機農産物などの販売コーナーの設置及び給食への有機野菜使用拡大, 町内有機農業の普及・拡大における課題に生産者と相互理解のうえで取り組むことを目的に, 町独自の方針「自然生態系事業」を推し進めている宮崎県綾町への視察研修を実施しました。



取組について綾町から説明



有機農家ほ場 視察



綾手づくりほんものセンター



オーガニックスクール

普及・流通部会

① 有機農業体験イベントの開催

有機農業の普及(生産, 流通, 消費, 食育, 環境教育等の各分野)を目的として, 生産者, 消費者, あおぞら保育園の子どもたちや募集により集まった方を象とした有機農業体験を実施し, 有機農業に関する情報発信や交流の拠点としました。



<募集による参加>

R5.10.28(土) サツマイモの収穫, 野菜の種まき作業

R5.12.3(日) 根菜類の種まき, 除草, 大根の収穫

R5.1.22(日) 畑の管理, じゃがいも収穫など

<あおぞら保育園>

R5.8.21(月) スイカの収穫

R5.12.1(金) サツマイモの収穫

R6.1.18(木) 大根の収穫

R6.2.28(水) じゃがいも収穫, にんじん収穫, 畑の片付け



② 鹿児島大学農学部との共同研究

「種子島産農産物の生産・流通の実態および町民（島民）の消費行動調査」

- ◆ 南種子町における「食と農のあり方」に関する町民意識・意向調査を実施(全世帯アンケート調査)
- ◆ 9月21～23日、学生20名、教員2名が来島し島民の消費行動調査を実施。

9月22日には、生産者や消費者などが参加し、李教授による講演や学生とのワークショップが行われました。南種子町が取り組むべき有機農業のあり方や南種子町産農産物の流通などについて活発な意見が交わされました。



李哉洵教授による講演



町民、関係者30名が参加して
学生とのワークショップ



店舗前での聞き取り調査

有機給食部会

① みなみたねゆうきっこチャレンジ給食

毎月8日の有機の日に合わせて、有機野菜を取り入れた給食を提供しています。養教諭などが、献立表や一口メモで給食に使用している有機食材の紹介など、児童・生徒にもわかりやすく周知しています。有機農業体験圃場で作られた野菜も給食で使用できる野菜は、あおぞら保育園の給食などにも使用しています。

また、ゆうきっこチャレンジ給食のご飯は有機米(試験栽培)を使用しています。



有機野菜を使った給食



訪問視察の様子



今日の有機野菜
今日(7月10日)の有機野菜
今日は初めての「みなみたねゆうきっこチャレンジ」の日です。南種子町は有機農業という内容で取り組むことに力を入れ始めています。南種子町では農業で培えるよさに、有機野菜を育てていますが、収穫はまだなので、今日は鹿児島県産で収穫された「有機オクラ」と「有機ピーマン」を持って来島してきました。南種子町産の有機野菜を圃山産地で培えるようになる日が来るまでは、有機野菜を産地に届けてもらえるよう「みなみたねゆうきっこチャレンジ」を月に1回行います。今回の「みなみたねゆうきっこ産直」として南種子町で栽培された有機野菜を用いた献立ができるということです。

② 有機給食イベントの開催

町内小・中学校の児童生徒及び保護者への有機農業の普及(食育、環境教育)を目的として開催しました。



*R5.12.11(月)

町内小・中学校で有機食材を使った給食を提供、平山小学校で有機給食試食会を開催

*R6.1.22(月)～1.26(金)

「鹿児島をまるごと味わう学校給食」週間に合わせ、有機食材を利用した給食を提供

事務局

- ◆ 「ふるさと祭」お祭り広場で、町有機農業推進協議会ブースの設置や展示
- ◆ 種子島中央高校「郷土学習」対応
町有機農業推進協議会の取組について説明
- ◆ 熊毛地域有機農業担当者会、熊毛地域「環境と調和した農業推進研修会」への出席

- ◆ 有機農業で南種子を元気に！SDGs 祭り

種子島中央高校の生徒 6 人が中心となり、宇宙ヶ丘公園を盛り上げようと、有機農業を推進し、地域の食糧自給率や自然保護に貢献すること等を目的とした、イベントが開催されました。

有機野菜や有機農業クイズ、海洋ゴミで作成したゲームなど生徒が主体的に企画を行いました。

- ◆ 町外からの訪問や視察の受入れ、意見交換会など

* 飛島村議会議員

- ◆ 情報発信（町広報紙・町ホームページ・SNS）

* 町広報紙へ記事を掲載

* 町ホームページへの情報掲載

* SNSでの情報発信（協議会インスタグラム）

